

孫について

小林まもる

身重な野良の三毛猫が

新しいわが家のいぬばしりを

ゆっくり歩いていくよ

孫とわたしの二人の気配を

横目で伺いながら

それでも無視して

矜持をたもち

物憂げにいぬばしりを

渡っていくよ

小さきものよ

やさしい呼びかけも

追いついてるしぐさもしないで

見守るしかないのだよ

人をおそれつつ

それでも人の家の

いぬばしりまでは

近寄るしかないぎりぎりの

身重な野良の子育てを

祈るしかないのだよ

